

# あがつま



年間聖句

『兄弟たち。あなたがたは、自由を与えられるために召されたのです。ただ、その自由を肉の働く機会としないで、愛をもって互いに仕えなさい。』

(ガラテヤの信徒への手紙5章13節)

## ♪ 賛美歌を歌おう⑧

### 『神はわがやぐら』

讃美歌…267番

一〇月三十一日は宗教改革記念日です。この『神はわがやぐら』は、歌詞も旋律も宗教改革者、マルティン・ルターによって作られた歌で、プロテスタント教会にとって記念碑的な意義を持つ重要な賛美歌です。ドイツの詩人ハインリヒ・ハイネによって「宗教改革のラ・マルセイエーズ(革命歌)」と名付けられ、勇ましい勝利の歌として歌われてきたこの賛美歌は、第二次世界大戦時「ドイツの勝利の歌」として兵士たちを前線へと送り出す歌として歌われ、第三帝国の勝利ではなく、ドイツの勝利が歌われたのです。

戦後、ドイツの教会はこの反省に立って、歌詞と出典である詩篇四六についてルターの説教を研究し直した結果「勝利の歌」ではなく、悪魔の襲撃に苦しむ教会と信仰者に対して、主が共います」と励ます「慰めの歌」としてとらえ直されました。

日本語の訳詞では一人称が単数で「わが」となっています。原詩では「われ」と複数になっている。自分(人間)の勝利ではなく、神の勝利をこそ高らかに賛美しましょう。

稲垣真実

